

会計名			市民講座開設事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	社会教育センター		
款	項	目					担当係	社会教育センター		
10	6	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供するため、市民の生涯学習の推進と支援を図る。		主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期、後期に分けて約3か月間開設する。1講座当たりの受講者数は、20人程度（一部40人）で実施する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	市内在住または在勤の人		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		・講座開設数 11講座 ・講座受講者数 242人		・講座開設数 13講座 ・講座受講者数 256人		・講座開設数 15講座 ・講座受講者数 300人		・講座開設予定数 8講座 ・講座受講予定者数 200人		
成果		受講者の知識・教養の向上、技能の習得に資すると共に、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。								
課題		市民講座受講後の受講者の施設利用を考慮し、受講者による新たな自主サークル結成や自主サークルへの参加の促進を図ること。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
成果指標		市民講座受講者数（人）			242	256	300	200	300	
指標										
他市との比較検証		近隣市（安城市）においては、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。								
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		973	984	968	1,185	合計 968,300 円			
	財源	特定財源	189	191	209	240	報償費 734,000 円			
		一般財源	784	793	759	945	需用費 74,000 円			
	職員人件費 ②		5,816	6,558	3,081	3,029	役務費 50,000 円			
	総事業費（①+②）		6,789	7,542	4,049	4,214	使用料及び賃借料 110,300 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費		0		講座受講料				
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			市民講座開設事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	社会教育センター
款	項	目		担当係	社会教育センター
10	6	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	各種講座の開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	時代の変化に対応したプログラムの提供など、市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、各種講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			学習発表会実施事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	社会教育センター		
款	項	目					担当係	社会教育センター		
10	6	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	社会教育センターの利用団体が日頃の学習成果を発表・展示することにより、学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図る。			主たる内容	学習成果の発表・展示、芸能音楽の発表、茶会等を年1回、社会教育センター全館で実施する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	社会教育センター利用団体		事業期間	平成2年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		11月26日（日）開催 ・参加団体数 28団体 ・参加者数 316人 ・入場者数 572人		11月18日（日）開催 ・参加団体数 23団体 ・参加者数 250人 ・入場者数 530人		11月17日（日）開催 ・参加団体数 29団体 ・参加者数 329人 ・入場者数 611人		11月15日（日）開催 ・参加団体数 15団体 ・参加者数 200人 ・入場者数 400人		
成果		これまでの展示中心の発表会から来場者にも多く参加・体験できる発表会へと改善した。これにより来場者の増加及び参加者の学習意欲にこれまで以上の向上がみられた。また、マンネリ化していた学習発表会にも新たな魅力が生まれ、参加者の誇り醸成にも資することができた。								
課題		平成31年度において改善を図ったところではあるが、さらに学習活動の活性化を図るためには、新たな団体の参加や来場者の増加を促す必要がある。しかし施設規模や予算面での制限があるため、拡充を進めるためには参加団体が主体となり、それぞれが協力し調整しあうよう働きかけ、従来のあり方そのものを抜本的に見直し、新たな魅力を創出していく必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		参加団体数（団体）				28	23	29	15	29
成果指標		来館者数【参加者数+入場者数】（人）				888	780	940	600	950
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても公民館単位で、利用団体が学習成果を発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。								
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		367	366	368	372	合計	368,450 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	320,000 円		
		一般財源	367	366	368	372	使用料及び賃借料	48,450 円		
	職員人件費 ②		1,939	3,086	2,696	2,650				
	総事業費（①+②）		2,306	3,452	3,064	3,022				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費			0							
3年度以降の事業費見込			0							

会計名			担当部	教育部	
一般会計			担当課	社会教育センター	
款	項	目	担当係	社会教育センター	
10	6	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	社会教育センターの利用団体である市民が、日頃の学習成果を発表・展示することで学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図るため、必要性の高い事業である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	社会教育センターの利用団体で構成される実行委員会に委託し、活動の充実・活性化を図り、学習意欲の一層の向上や参加促進を行い、効率的な運営を行っている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	学習成果の発表の場の提供など、市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	普通	学習発表会を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
引き続き、学習発表会を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			親子の公民館活動促進事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	社会教育センター	
款	項	目					担当係	社会教育センター	
10	6	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	「めばえ図書室」を開設し、乳幼児及び小学校低学年の児童とその親等への図書の貸し出し、講演会、おはなし会等の開催や、読書グループの育成を図ることにより、絵本を通して親子が触れ合い、子どもの心身の健全な育成に寄与する。			主たる内容	図書の購入と貸し出し、読書（絵本）講演会、おはなし会、学習会、赤ちゃん絵本講座を実施する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	乳幼児、小学生低学年とその母親等		事業期間	昭和51年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・読書講演会 4回 ・おはなし会 0・1・2才児向け 23回 2・3才児向け 24回 園児・小学生向け 31回 ・学習会 40回 ・赤ちゃんの絵本講座 6回 ・図書蔵書数 15,544冊 ・利用者数 5,992人 ・図書貸出数 15,757冊		・読書講演会 3回 ・おはなし会 0・1・2才児向け 21回 2・3才児向け 22回 園児・小学生向け 27回 ・学習会 41回 ・赤ちゃんの絵本講座 6回 ・図書蔵書数 15,684冊 ・利用者数 5,870人 ・図書貸出数 15,651冊		・読書講演会 3回 ・おはなし会 0・1・2才児向け 19回 2・3才児向け 20回 園児・小学生向け 21回 ・学習会 34回 ・赤ちゃんの絵本講座 6回 ・図書蔵書数 15,971冊 ・利用者数 5,474人 ・図書貸出数 14,424冊		・読書講演会 3回 ・おはなし会 0・1・2才児向け 6回 2・3才児向け 5回 園児・小学生向け 7回 ・絵本で子育て講座 中止 ・学習会 中止 ・図書蔵書数見込 16,300冊 ・利用者数見込 1,860人 ・図書貸出数見込 5,600冊	
成果		絵本の貸し出しを行うとともに、読書講演会や年齢別のおはなし会、保護者向けの学習会や赤ちゃんの絵本講座を実施することにより、親子が絵本を通して触れ合うことができ、こどもの心身の健全な育成に寄与した。							
課題		本事業は親子対象として質の高い事業であるため、より多くの子育て世代が刈谷市の魅力の一つとして感じてもらえるよう、さらにイベント等を充実しPRに努め、また利用しやすいよう図書貸出しシステム等の改善を図る。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		図書室利用者数（人）		5,992	5,870	5,474	1,860	6,000	
成果指標		図書貸出数（冊）		15,757	15,651	14,424	5,600	16,000	
他市との比較検証									
C 事業コスト V		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,660	1,693	1,721	2,027	合計 1,721,230 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	賃金	878,980 円	
		一般財源	1,660	1,693	1,721	2,027	報償費	268,000 円	
	職員人件費 ②		2,714	3,086	1,540	1,136	需用費	50,990 円	
	総事業費（①+②）		4,374	4,779	3,261	3,163	使用料及び賃借料	23,650 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	社会教育センター		
款	項	目					担当係	社会教育センター		
10	6	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	生涯学習施設（社会教育センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。		主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、各種設備機器の日常・定期点検を通じて、施設の適正な維持・保守管理を行う。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法、刈谷市社会教育センター条例、刈谷市公民館条例						
		対象者	市民	事業期間	昭和50年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		・中央公民館利用者数 45,513人 ・施設利用率 35.8%		・中央公民館利用者数 45,005人 ・施設利用率 36.6%		・中央公民館利用者数 45,748人 ・施設利用率 36.6%		・中央公民館利用者数見込 40,000人 ・施設利用率見込 30.0%		
成果		身近な学習施設である社会教育センターで、公民館利用者が気軽に利用できるよう生涯学習の場を提供し、住民の福祉の増進を図った。								
課題		一昨年度は減少した利用者数だが昨年度は行事の見直し等で増加に転じた。今後も減少に歯止めをかけ増加を促す施策が求められる。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度			
活動指標		中央公民館利用者数（人）		45,513	45,005	45,748	40,000	47,000		
成果指標		施設利用率（%）		35.8	36.6	36.6	30.0	37.0		
他市との比較検証		近隣市（安城市）は、地区公民館単位で施設管理コストの削減に努めている。また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。								
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		25,124	27,163	26,435	28,904	合計	26,434,666 円		
	財源	特定財源	2,353	2,421	2,406	2,381	需用費	8,389,332 円		
		一般財源	22,771	24,742	24,029	26,523	役務費	466,037 円		
	職員人件費 ②		3,102	3,858	2,310	1,893	委託料	17,187,939 円		
	総事業費（①+②）		28,226	31,021	28,745	30,797	使用料及び賃借料	276,968 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費		0		社会教育センター使用料				
3年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			施設改修事業				担当部	教育部			
款	項	目					担当課	社会教育センター			
10	6	3					担当係	社会教育センター			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	生涯学習								
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進								
	目的	適切な施設改修等により、施設利用環境を良好な状態に改善を図る。 補正 施設内の雨漏り対策のために施設改修等を行う。	主たる内容	補正内容 市民交流センター内の雨漏り対策として、屋上の防水改修工事及び屋根雨水排水樋改修工事を行う。 実績等 補正予算での工事については繰越明許							
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画								
		根拠法令									
		対象者	市民		事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画			
				<ul style="list-style-type: none"> 市民交流センター防水修繕 受水槽緊急用蛇口取付工事 		<ul style="list-style-type: none"> エントランスダウンライト修繕 発電機用蓄電池取替修繕 防犯カメラシステム取替修繕 防犯カメラ増設工事 1階女子便所鋼製ドア等取付工事 駐輪場段差解消工事 屋上防水等改修工事 		<ul style="list-style-type: none"> 駐車場整地等工事 			
成果		各所の改修を行い防犯性・安全性、また大雨時の快適性を高めることで利用者が安心できる環境を整備した。									
課題		施設機器の老朽化に伴い、随時修繕等を行っていく必要がある。									
指標名称（単位）					実績値		目標値				
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標											
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	1,335	3,253	45,749	合計	3,252,960 円			
	財源	特定財源	0	0	143	300	需用費	1,981,800 円			
		一般財源	0	1,335	3,110	45,449	工事請負費	1,271,160 円			
	職員人件費 ②		775	2,700	1,925	909					
	総事業費（①+②）		775	4,035	5,178	46,658					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	元年度特定財源名称					
		元年度までの累積事業費			0	建物共済保険金収入					
3年度以降の事業費見込			0								